

佳作 介護施設での利用者様との関わりと感じた事



ニン ウェイ リン
HNIN WAI LWIN
国籍 ミャンマー
職種 介護
実習実施者 株式会社新風会
監理団体 えひめパートナーサービス
協同組合

私は二年前ミャンマーから技能実習生として、愛媛にやってきました。ミャンマーで日本語の勉強はしっかりとしていたつもりでしたが、実際に働いてみて接する利用者さんは方言を使われることも多く、利用者さんが何を伝えたいのか分からず、どのように返事をすれば良いのか悩むことも多く、コミュニケーションをとることの難しさを感じていました。

外国人として利用者さんのどのような介助でも難しかったけど利用者さんの一言でいろんな悩み事を上手く乗り越えてきました。

入浴を怖がられていたYさんに入浴介助する時、最初「冷やいなあ……」と何回も言われたが入浴中笑顔で「すまないな、有難う」と言われると疲れの解消になりました。

Kさんに呼ばれ、「寝ようかなあ……」と言われたのでトイレに行かれ、入室されて私が「お休み」と言ったらKさんから「ご苦労さん」と言われたので幸せな気持ちになりました。

Mさんに朝バイタルチェックをする時「Mさんおはよ

うございます」と声を掛けると、「姉ちゃんなあ…おはよう、可愛らしい…可愛らしい」と笑顔で「姉ちゃんがいいな、良くやるな」と言われました。朝から夜まで利用者様の介助をするなかでMさんの笑顔で疲れも吹き飛びました。

職員が声を掛けても良く不機嫌な態度をとられるSさんがいらっしゃいました。私もどのように関わるのが良いのか悩んでいました。ある日、ミャンマーの伝統的な踊りを利用者さんに披露したときSさん自ら手拍子して笑われ「姉ちゃん上手だな」と褒めてくださいました。この時の一言が私はとても嬉しかったのを今でも覚えています。今では、Sさんを含めいろんな利用者さんとスムーズにコミュニケーションがとれるようになってきて、利用者さんと話をするのがとても楽しいです。

そして日本の季節によって月々に行事があるので最初は行事の事をあまり分からず、上手く出来なかったけど今は企画から実行、反省まで任せてもらえるようになってきたので仕事が楽しくなってきました。

自分から少しずつ率先して動く事もできるようになり、やりがいを感じて楽しく一日をすごしながら仕事に取り組んでいます。

利用者さんが一人一人それぞれに必要な事や声かけを毎日気づけるように、努力していきたいと思います。